

臨床検査がおすすめする初期臨床研修プラン

臨床検査は Evidence Based Medicine における客観的な指標として診療にかかせないものです。検査部の業務は、血液、一般、生化学、免疫化学、血清、細菌、輸血、遺伝子及び緊急（診療前）といった検体検査と、心電図、超音波、脳波や呼吸機能などの生理検査に大別され、幅広い範囲の臨床検査を担当しています。これら臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。

臨床検査専門医を目指す研修医には、内科や救急といった必修研修において、市中病院では common disease を中心に、大学病院では専門性の高い疾患を中心に診療を経験した上で検査部を選択し、必修研修で身につけた臨床医として共通の検体検査、生理検査に関わる基本的な知識や技術をより確実なものにしていきたいです。また、当院の検査部は感染制御・臨床検査医学講座教授が部長を兼任しており、感染制御部と共に病院の医療関連感染対策にも触れることが出来ます。

1. 研修病院の選択

医師 3 年目からの臨床検査研修プログラムでの連携施設は旭川医科大学病院であるため、いずれの協力型研修病院、研修協力施設で研修を行っていただいてもかまいません。

2. 臨床検査専門医になるために研修が望ましい診療科

臨床検査は疾患の診断と治療に必要な不可欠な情報を提供しており、検査部はすべての診療科と連携することから、興味のある様々な科での研修をお薦めします。

3. コース選択

Aコース：大学病院スタートの場合

検査部での研修プログラムを有している協力型研修病院は少ないため、1年次の大学研修中に検査部を選択することをお薦めします。

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (血液)		必修 外科		選択 検査部				
2年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科	必修 救急			選択 泌尿器・耳鼻・皮膚科など		選択 放射線科・病理など			

Bコース：協力型研修病院スタートの場合

common disease や専門性の高い疾患を経験後に、検査部を選択することをお薦めします。

1年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (血液)		必修 救急		必修 ICU	必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 泌尿器、耳鼻、皮膚科など			選択 放射線科・病理など			選択 検査部					

Cコース：大学中心に研修したいとき

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (血液)		必修 救急		必修 ICU	必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 泌尿器・耳鼻・皮膚科など			選択 放射線科・病理など			選択 検査部					